

本号は透析液ならびに透析関連排水に関する最近のトピックスをまとめた特集である。透析液の清浄化について、日本透析医学会が示した「2016年版 透析液水質基準」の概要（川西先生）とそのなかで規定された「透析用水作製装置の管理基準」（阿瀬氏）について解説いただき、基準達成に必要な管理手順の実際について内野氏に説明いただいた。政金先生より統計調査の観点から基準の達成度について紹介いただき、達成度の低い「残留塩素濃度測定」の具体的な方法について菅野氏より解説いただいた。オンライン HDF を受ける患者数は年々増加しており、清浄化の重要性はますます高まっている。

透析液濃度を測定する装置が数多く市販され臨床の現場で広く利用されているが、その精度については不明な点が多い。これに対し日本血液浄化技術学会では「透析濃度測定の標準化」（小久保

先生）を実施した。具体的には標準物質の作製、それを基に校正された装置の認証を行い（村上氏）、標準化に伴う濃度調整時の留意すべき点（山家氏）について注意喚起している。適正な透析液の処方に関して精度管理が標準化された功績は大きい。

透析関連排水、とくに強酸性の洗浄剤がコンクリート製の下水管を損傷するという事態が発生（高橋氏）し、これを受けて都内透析医療機関における排水管理の実態調査を行ったところ約 2/3 の施設で未処理であることが判明した（穴戸先生）。早速透析関連 3 団体からなるワーキンググループで「透析排水基準」を策定したが、今後適正な排水管理に関する啓発ならびに普及が重要である。

（峰島三千男）

2020 年 (Vol. 36) 特集のご案内

No.① 透析患者の感覚器障害

No. 4 世間の荒波にもまれる CKD-MBD 治療
(仮題)

No.② 透析液・透析関連排水の諸問題

No. 3 腎代替療法と Shared Decision Making

(既刊は○)

臨牀透析® Vol.36 No.2

© 2020 年 2 月 10 日発行
定価：(本体 2,600 円 + 税)

年間予約購読は前金にて弊社あるいは書店宛お申し込み下さい。ただし、年間購読料は年度により異なりますので、弊社または書店までお問い合わせ下さい。

発行人 増 永 和 也

発行所 株式会社 日本メディカルセンター

〒 101-0051 東京都千代田区神田神保町 1-64 神保町協和ビル

営業直通電話 (03) 3291-3901 (代) FAX (03) 3291-3904

編集直通電話 (03) 3291-3971 (代) FAX (03) 3291-3377

e-mail dialysis@nmckk.co.jp

URL <http://www.nmckk.jp>

郵便振替 00110-2-80695

印刷所 シナノ印刷株式会社

・ Published by Nihon Medical Center, Inc. ©2020, Printed in Japan

・ 本誌に掲載された著作物の複製権・翻訳権・上映権・譲渡権・公衆送信権（送信可能化権を含む）は (株) 日本メディカルセンターが保有します。

・ JCOPY® 出版者著作権管理機構 委託出版物

本誌のコピーやスキャン等による無断複製は著作権法上での例外を除き、禁じられています。複製される場合は、そのつど事前に出版者著作権管理機構 (☎ 03-5244-5088, FAX 03-5244-5089, e-mail : info@jcopy.or.jp) の許諾を得てください。

■ 広告申込所 / 株式会社 文栄社 〒 113-0033 東京都文京区本郷 3-26-1 電話 (03) 3814-8541